261014_第1回松本市自転車活用推進計画検討委員会　意見要旨

No	意見等要旨	意見等に対する説明要旨
1	【藤田委員】 ・中高生は、イオンモールや松本駅のお城口周辺をよく利用しているが、無料の駐輪スペースが無くて困っている。駐輪スペースを新しく設置できる場所はあるか。	【事務局】 ・現時点で具体的に解消策を示すことはできないが、市としても課題として認識しており、自転車利用者が利用しやすいまちにするためにも、駐輪スペースを少しでも増やしたいと考えている。
2	【久保村委員】 ・資料P10にあるビジョンで「身近なシェアサイクルからバスや鉄道へスムーズに乗り換え～」とあるが、身近なシェアサイクルとは、住宅街にあるシェアサイクルからバスや駅に繋ぐという流れを考えているということか。	【事務局】 ・その認識である。シェアサイクルの設置状況は、中心市街地から信大付近に多く、南方面にはあまりないため、今後、シェアサイクルの運営会社とも連携して、南方面にも拡大していきたいと考えている。 また、学生の声により設置場所が増える可能性もあるため、また今後も意見を出してほしい。
3	【鈴木委員長】 ・信大周辺は時間帯によっては渋滞しており、病院に入れない状況であるためシェアサイクルを拡大してはどうか。 ・市民のシェアサイクルの活用が定着しつつあるため、住宅街や公共交通の便が悪いところにもあると活用が伸びると思う。 ・データを見ながら利用率の高いところを更に積極的に設置することで、利用者も増加すると思う。	【事務局】 ・いただいたご意見は、次期自転車活用推進計画の施策や事業を検討する際の参考とする。

No	意見等要旨	意見等に対する説明要旨
4	【鈴木委員長】 ・青切符制度について、非常に自転車のルールが難しいと思うが、「自歩道(自転車歩行者道)」について学生の皆さんは知っているか。 →４人中１人が認知 ・自歩道は区間の出入口にしか標示がないので分かりづらい。 ・自転車利用者、車の運転者、歩行者の理解があって、はじめて環境が整う。 ・どのように理解してもらうかがポイントになるのではないか。 ・免許を持っている人は基本的な交通ルールを知っているが、高校生は習っていないため、事故が多いということにもつながるのでは。 【藤田委員】 ・深志二丁目の交差点にある“自転車レーンを走っている自転車は、車用の信号で進めます”のように書かれている看板があり、とても分かりやすい。	【松本警察署 交通第二課：荻原係長】 ・自転車の乗り方や法律等、昔と変わっていて警察も悩む部分はある。 ・一般の方は分かりづらいと思うので、警察としても交通安全運動や交通安全教室で周知していかなければならないと考えている。
5	【勝野委員】 ・車が自転車を追い抜く際、自転車にギリギリまで幅寄せして追い抜きをする車がいて危険を感じる。自転車利用者だけでなく、ドライバーにも交通ルールを知ってもらうことが必要。	【松本警察署 交通第二課：荻原係長】 ・車は安全を確保したうえで自転車を追い抜く、という内容の法律が新しくできたので、運転者に対しての啓発が必要だと考えている。 ・自転車事故は毎日のように起きており、全ての道路利用者に対して安全啓発活動をしていく必要がある。
6	【鈴木委員長】 ・環境・健康の観点で、松本市の管理している公園で自転車が乗れるのは２箇所だけであり、幼少期に安全に乗れる場所がない。 ・幼少期は自転車が楽しい乗り物であると知り、学生になり安全教育を受け、まちの移動に自転車を活用する、という流れが一番望ましいと思う。	【事務局】 ・いただいたご意見は、次期自転車活用推進計画の施策や事業を検討する際の参考とする。